

第1表

江戸川区教育委員会 殿

学校名 江戸川区立小岩小学校

校長名 小松 広宣

令和5年度 教育課程について（届）

このことについて、江戸川区立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

記

1 教育方針（魅力ある学校づくり）

(1) 学校の教育目標

- 教育基本法及び学校教育法の精神のもと、学習指導要領に基づき、知育・徳育・体育の充実を図り、「生きる力」を兼ね備えた児童を育成する。
- 東京都教育委員会及び江戸川区教育委員会の教育目標を踏まえ、人権尊重の精神を基調に、我が国と郷土への愛情や公共の精神をもった人間性豊かな児童を育成する。
- 上記を踏まえ、次の学校教育目標を設定する。
生きる力を養う
①考える子（確かな学力） ②思いやりのある子（豊かな心） ③元気な子（健やかな体）

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 全教育活動を通じて人権教育や道徳教育、SDGs（LGBTQ含む）、学校2020 レガシー、区子どもの権利条例等を学ぶ学習を推進し、「生きる力（特に自他尊重と共生の姿勢）」を養う。
- 新たに知った、問題解決できたなどの経験を積み重ねて「確かな学力」を養う。
特に、「確かな学力コアプラン」「区 誰一人取り残さない学力向上アクションプラン」に基づくE S D（持続可能な開発のための教育）やカリキュラム・マネジメントを推進し、統一した指導や発達段階に応じた指導・個に応じた指導を行う。
- 自ら判断して行動した、共にやり遂げたなどの経験を積み重ねて「豊かな心」を養う。
特に、「豊かな心コアプラン」に基づくあいさつの定着や基本的な生活習慣の確立等について統一した指導や発達段階・個々の特性等に応じた指導を行う。
- 体を鍛えた、健康について考えたなどの経験を積み重ねて「健やかな体」を養う。
特に、「健やかな体コアプラン」に基づく体力や運動能力の向上、食に関する指導・心身の健康の保持増進について統一した指導や発達段階等に応じた指導を行う。
- 巡回指導・弱視通級指導学級・日本語通級指導学級において「自他を尊重する姿勢」や「共生の姿勢」などの「生きる力」を養う。
特に、「特別支援教育コアプラン」に基づき、特別支援教室・弱視通級指導学級・通常学級において統一した指導や障害及び発達特性に応じた指導、自他を尊重する教育を行う。また、共生学習や交流及び共同学習を行う。更に、「日本語指導コアプラン」に基づき、日本語能力に応じた指導や自他を尊重する教育、豊かな国際感覚を養う教育を行う。
- 地域やPTA等と連携した教育を推進する。
特に開校140周年を終えて、学校と地域の連携や伝統を生かした教育活動の一層の充実を図る。また、保護者・学校評議員・教職員等が連動した学校評価により教育課程の改善・充実を図る。